



R I. 第2620地区 静岡第2分区
三島西ロータリークラブ

週報

第2022号

事務所 静岡県三島市中央町4番9号 2F
TEL(055)976-6351 FAX976-6352
例会場 静岡県三島市梅名393-1 ブケ東海三島
TEL(055)984-0120
会長 鈴木 郁夫 幹事 前田 房江



広重版画より 三島 朝霧

第2085回例会

2015.9.3
於:米山記念館

司 会

登崎久夫君

国歌斉唱

四つのテスト

ロータリーソング

「奉仕の理想」
指揮 古川喜仁君

会長挨拶

会長 鈴木郁夫君

あらためましてこんにちは。先日ガバナー訪問の後でパスト会長会議が行われ、次年度ガバナー補佐に亥角パスト会長が推挙され、快諾していただきました。次年度よろしくお願いたします。

先月23日にはグランシップで行われました、財団セミナーに石井彰財団委員長とともに出席してまいりました。当クラブは財団の年次寄付が地区平均よりかなり下回っているとのことですので、ご寄付のほどよろしくお願いたします。詳しくは委員長よりご報告があるかと思います。

また28日には熱海で親睦家族例会が行われ、46名の会員家族が出席されました。例会場の「ひょうたん」で食事をしたのちに花火会場に移動して、観覧席の目の前で打ち上げられた迫力ある花火を十分に楽しむことができました。下見を含めて今回の設定をしていただいた親睦委員会の皆様ありがとうございました。

さて、ロータリー文庫を眺めていましたら、「日本のロータリーソング」という名前が目にとまりましたので中身を見てみました。昭和62年に札幌ロータリークラブの当時の会長の西條正博さんという方が書かれたもので、いまわれわれが日頃何気なく歌っているロータリーソングの解説があり、意外性もありましたので少し紹介させていただきます。

「奉仕の理想」昭和10年のロータリーの全国大会に合わせて日本語のロータリーソングを作ろうということで、全国公募した時の入選作です。それまではほとんど日本語のロータリーソングはなかったそうです。ソングリーダーだった京都RC会員の作った詩に東京RCの会員の東京音楽学校、今の芸大の教授が曲をつけました。

「我等の生業」奉仕の理想と同じく昭和10年の公募入選作です。作詞は高野(たかの)辰之さん、作曲は岡野貞一(ていいち)さん。「春が来た」「春の小川」「朧月夜」や兎追いかの山の「故郷」など、よく知られた多数の小学唱歌を作った名コンビです。

「手に手つないで」(昭和26年公募作品) 「それでこそロータリー」(昭和28年)はともに東京RCの矢野一郎会員の作詞、作曲です。この方は第一生命の社長だった方です。歌いやすく、くだけた感じを心掛けて作ったそうです。

矢野さんのその他の作品として、メロディはわかりませんが少し詩を紹介すると「ロータリーのオジサン お年はいくつ、わしはいつでも十三 七つ」の「ロータリーのおじさん」や「やあ、やあ おはようと ロータリアン」の「笑って、笑ってロータリアン」「いらっしゃい、いらっしゃい よくおいで くださいました」の「歓迎の歌」などを作っています。確かにくだけていますし、メロディを聞いてみたい感じもいたします。

「日も風も星も」作詞が東京世田谷RC会員の楠本憲吉さん、俳人で料亭「なだ万」の亭主、随筆家、私もかなり昔、新聞などで連載の随筆を読んだ覚えがあります。作曲は「鐘の鳴る丘」「予科練の歌」「東京オリンピックマーチ」の同クラブ会員の古関裕而さんというビッグネームです。

意外な作詞、作曲家にびっくりしたところもあり、我々が日頃何気なく歌っていたロータリーソングの出所が少しわかりました。

出席報告

	出席総数	出席率	メークアップ	修正率
前々回	35/42	83.33%	37/42	88.10%
今回	35/41	85.37%	会員総数	49名

欠席者 遠藤(正)君、長田君、橋本君、森崎君、矢岸君、山口君

2015~2016年度
国際ロータリー会長
K.R.ラビンドラン

世界へのプレゼントになろう

卓 話

障がい者スポーツ・ブラインドサッカー

石井良衛君



皆さんは、障害者スポーツといえば、どういったスポーツを連想しますか？陸上競技では、健常者にまじり義足のランナーが快走したことを覚えている方もいるかと思います。現在、錦織圭の活躍で脚光を浴びているテニス界ですが、長年王者として君臨し、今もなお、現役であるロジャーフェデラーは、インタビューにこう答えています。「日本には、素晴らしい王者がいるじゃないか？ニシコリ？いや、クニエダだ!」と。国枝慎吾。彼は、車椅子テニス界の王者です。ただ、彼がウインブルドンで世界王者になろうと、トップ記事になることはありません。

我々日本人は、時として、障害者との壁を自ら作ってしまっている傾向があります。障害者と健常者は、まるで違う世界に住んでいるかのように。日常生活で、白杖をついて歩いている方が道端でなにやら悩んでいます。なにが手助けできないかなと思う自分がいます。ただ、なんて言葉をかけたらいいかと考えている間にその場面は過ぎてゆきます。みんなやさしい気持ちをもっているのに、一歩が踏み込めず、おのずと障害者との間に壁を作ってしまう悔やんでいる感じがあります。

障害者スポーツの中で、ブラインドサッカーという種目があります。現在、初のパラリンピック大会出場を目指して、日本代表が奮闘している競技です。ひとチーム5人、4人の視覚障害者と1人の健常者であるキーパーで構成されるスポーツです。盲目の選手が、どうやってボールを追い、そして華麗にシュートを決められるのか？選手たちは、音や声を頼りに動いているのです。サッカーボールの中には、鈴が特別に仕込まれています。そして、シュートのタイミングは、相手ゴール裏のコーチが声で指示をだします。普段のフル代表のサッカーの試合では、試合中もサポーターの大声援が聞こえてきますが、このブラインドサッカーの観客は静かに試合を見守ることがマナーとして決められています。選手たちは、声を頼りに動き、声をだして仲間との意志疎通を図り戦います。それは、通常のスポーツでもあることですが、盲目の彼らからすると、その意思疎通はより強固なものであり、絆であるかのようです。

そんなブラインドサッカー協会が行っている課外授業に、スポ育というものがあります。これは、講師を小、中、高校に派

遣し、少しでも生徒の皆さんに障害者の気持ちと、そして仲間を気遣う気持ちを育んでもらおうとする授業です。

現在、三島西ロータリーでは、三島市の教育課と会合をもち、そうした授業を受けたい小学校を募集しています。少しでも、将来をまかせられる子供たちに育ってもらいたい、やさしい人であってほしいと願っています。人の気持ちを動かすのは、やはり人であると思います。熱い気持ちを大人たちが持ち、子供たちに接することから、まずは始めたいと思います。

皆様の熱い心と、協力をお願いして、私の卓話を終わります。



幹事報告

幹事 前田房江君

①ガバナー補佐をパスト会長の亥角裕巳様に無理を言うてお願いしましたところ、気持ちよくお受け戴きましたのでご報告いたします。

②苗栗中学生受け入れは苗栗より8人の派遣希望があり理事会で承認されました。皆様の御協力をお願い致します。

③例会場の変更をお知らせします。

10月1日(第1例会) プケ東海 卓話 小島辰夫君

10月22日(第4例会) 米山記念館 米山奨学生

④見晴フェスティバル 10月18日(日)について

例会場所 見晴学園 例会時間 10:00予定

⑤見晴フェスティバルの前日10月17日(土)トン汁の下ごしらえのお手伝いの方メイクアップ扱いとします。

⑥9月12日(土) 米山梅吉記念館秋季例大祭です。出席できる方申し込みをお願い致します。

理事会

〈協議事項〉

1.見晴フェスティバルについて 10月18日(日)

2.苗栗中学生受け入れについて

3.その他

9月の予定

1.第1例会 9月3日(木) 例会場変更 米山記念館
社会奉仕委員長 石井良衛

2.第2例会 9月10日(木) 夜間例会 卓話 遠藤正幸君

3.第3例会 9月17日(木) 卓話 木村安紀夫君

4.第4例会 9月24日(木) ロータリーの友月間
クラブ広報委員長 遠藤眞道君

(週報担当:鈴木正二)